

令和5年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol.3

No.108

日之出保育園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) 一人一人の発達状況や年齢の発達を理解し、3つの視点、5領域をとらえて実践し、職員間で共有する。	(1) ◎	園内でみあいっこ保育をし、保育指針と照らし合わせながら研修を行えた。
		(2) 自己評価を実施し、教育・保育の質の向上を図る。保護者アンケート・園評価を実施し次年度に活かす。	(2) ◎	自己評価を行ったり、アンケート結果で課題を見つけたりできた。次年度に活かしたい。
		(3) 保育カウンセラー、特別支援センターなど専門機関と連携し、発達の特性や支援方法を共通理解し、実践する。	(3) ◎	保育カウンセラーや必要に応じて、各関係機関と連携を図りながら保育を考えていった。
		(4) 安全の心得を活用したり、室内外の安全点検や消毒を行ったりして、安全で衛生的な環境を整える。	(4) ○	日々の感染症対策や衛生的な環境に気を配ってきた。安全の心得を十分に活用できるとよかった。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) 研修や職員会議、園内研修で学び合ったりして教育・保育の知識や技術を共有し、質の向上を図る。	(5) ◎	時間を有効に利用し、会議や園内研修を行い、全職員で保育について語り合い、共有できた。
		(6) 施設長の責務を明らかにし、チェックリスト、保育図書の文献を活用し、専門性の向上に務める。	(6) ◎	定期的にチェックリストを活用したり、文献を読み合わせたり共通理解し専門性の向上に努めた。
		(7) 職員一人一人に研修計画を作成して研修に取り組めるようにし、職員間で伝達し合い、学び合う。	(7) ◎	積極的に研修に参加し、また研修報告をしながら学び合えた。
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 個人懇談を実施し、連絡帳や送迎時に子どもの様子を情報交換して子育ての悩みや不安解消に努める。	(8) ◎	希望者との個人懇談、保育参観、クラス懇談を実施し悩みを共有したり、情報交換したりした。
		(9) 就学に向けての情報交換や気がかり児の個別計画に基づいた家庭との連携の推進に務める。	(9) ◎	保護者と懇談を行い、就学先との情報交換をしながら連携を図っていった。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放の日時、情報を提供し、育児相談、情報提供など地域の子育て家庭の支援を行う。	(10) ◎	園開放の情報を提供し、積極的に受け入れを行い、相談等支援を行うことができた。
		(11) 子育てに関するパンフレット等を配布し、様々な等の情報提供を行い、活用できるようにする。	(11) ○	園開放でパンフレット等を配布し、活用できるよう情報提供していった。
		(12) 園開放等で随時子育て保育相談に応じ、援助の充実を図る。	(12) ○	積極的に声かけし、悩み不安等相談に乗るようにした。
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) 健康管理センターや子ども療育センター、子ども福祉課との連携を図る。	(13) ○	外部機関と連携を取りながら、情報交換したり、その子のあった環境、支援方法を探っていたりした。
		(14) 民生児童委員、主任児童員、保健衛生推進員との連携を図り、地域の実情を共有する。	(14) ○	地域の民生委員との情報共有を図っていった。
		(15) 園小連携会議に参加したり、特別支援コーディネーター等との連携を図ったりして就学につなぐ。	(15) ◎	それぞれの会議に参加し、連携を図りながら就学に繋いでいった。
		(16) 園だよりや学校だよりを発信し合い、情報交換を行う。	(16) ○	発行物の交換をしながら、お互いの取り組みについて共有した。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 子どもについての相互理解を図るため、小学校や公民館、児童館で開催される行事に参加し連携する。	(17) ◎	感染症規制が緩和され、地域の行事に積極的に参加し、連携ができた。
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 保育園の行事、園開放などで地域の子どものふれあいの促進を行う。	(18) ◎	保育園行事への参加を促し、交流していった。
		(19) 保護者会活動、地域育成支援関係機関開催の会議及び行事に参加をする。	(19) ○	保護者会の開催はできなかったが地域の会議、行事に参加していった。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 職場体験や実習生等の受け入れをし、子育てへの関心を高める。	(20) ◎	実習生の受け入れを行い、保育園、保育士の役割等について発信していった。
		(21) 区民体育大会、ふれあいフェスタ等地域行事への参加を行い、地域の人との交流を図る。	(21) ○	太鼓発表や作品展示やその他の地域行事への参加し交流を図った。
V 安心して子どもを 生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) これからの保育園に求められる役割について研究に参加し、伝達して学び合う。	(22) ◎	保育研究合同発表会で研修の成果を発表できた。また、全職員が他園の発表を見て共通理解できた。
		(23) 保育研究大会等に参加し、これからの乳幼児の教育・保育制度について学び、職員間で共有する。	(23) ○	研究大会に参加し、情報を共有した。保育制度については、一人一人が情報収集行うことが必要。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) アクションプログラムを全職員で共通理解し、作成・実施し、評価を次年度につなげていく。	(24) ○	全職員での共通理解が難しいところがあった。課題等共有し、次年度に取り組んでいきたい。

《園での取組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。